



題 材 名：日本とアジアの語り物音楽を聴こう [全3時間計画]

教 材 名：【日本】義太夫節「新版歌祭文」から“野崎村の段”
【韓国】パンソリ「興甫歌（フンボガ）」

指導事項：B鑑賞（I） ア（ウ） イ（ウ）

思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素： 音色 リズム

— 題材の目標 —

義太夫節（日本）とパンソリ（韓国）の音楽の特徴と、その特徴から生まれる語り物音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、語り物音楽のよさや美しさを味わって聴き、我が国の伝統音楽やアジア地域の諸民族の音楽に親しむ態度を養う。

— 指導のポイント —



我が国や郷土の伝統音楽は、その多くが、古くから中国や朝鮮半島などの音楽文化の影響も受けながら独自の発展を遂げ、現在でも様々な音楽として存在しています。アジア地域の諸民族の音楽を知るとは、我が国や郷土の伝統音楽の理解につながります。この題材では、日本と韓国の「語り物音楽」を軸に比較鑑賞を行います。発声方法や一人の歌い手と一人の伴奏者という演奏形態などの共通点や2拍子系のリズム（日本）と3拍子系のリズム（韓国）などの相違点を挙げながら、それらの音楽の共通性や固有性を自分なりに考えることを通して、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにすることがポイントです。

～学習の流れ～

つかむ	気付く	【題材の課題】 日本と韓国の語り物音楽の特徴を探りながら聴き、音楽のよさや美しさを味わおう
		○どこの国の音楽か想像しながら聴く。 ○義太夫節とパンソリの雰囲気や音や音楽の疑問点に気付き、情報を共有する。 ○題材の課題解決に向けて大まかな見通しをもつ。
	探る	○物語における音楽表現を聴き取る。 ○音楽を形づくっている要素を手がかりに、共通点や相違点を探りながら聴く。 ○音楽の背景となる文化や歴史に触れる。 ○聴き取ったり感じ取ったりしたことを比較しまとめ、意見を共有する。
追求する		
まとめる	伝える	○音楽に対する評価を自分なりの言葉で紹介文シートにまとめる。 ○紹介文をグループで伝え合う。 ○自分や他者の意見を確認し、再鑑賞を行う。
		【課題を達成した姿】 音楽を形づくっている要素を手がかりに、日本と韓国の語り物音楽の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わっている

学習活動	活動例〔🎵：聴く活動 📄：学習プリント〕	指導のポイント
○本時のめあてをつかむ。	<p>今から流れる音楽は、どこの国の音楽でしょうか。音楽の印象から国を想像してみましょう。</p> <p>三味線の音がしたから、日本の音楽だと思うな。</p> <p>もう1曲も太鼓の音がして、日本の民謡みたいな感じがする。</p> <p>二つの音楽は、それぞれどこの国の音楽だと思いますか。みんなで話し合ってみましょう。</p> <p>2曲とも民謡みたいだったから、どちらも日本。</p> <p>えっ。1曲目が日本語で2曲目は日本語ではなかったよ。</p> <p>三味線の音がしていたから、1曲目は日本だと思う。</p> <p>正解は…日本と韓国でした。日本でもいろいろな韓国文化が流行っていますね。でも、違う国の音楽なのに、どうして日本の音楽と似ていると感じたのでしょうか。</p> <p>同じアジアだから。</p> <p>隣の国で、近いからかなあ。</p> <p>今日は、この二つの国の音楽を比べながら聴いていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の興味・関心を音楽に集中させるために、音のみで聴取する。 ●他者との情報交換をすることで、多様な考えを知る場を設ける。 ●世界地図などを利用して、地域的な背景との関わりを意識するきっかけを作る。 ●生徒の気付きや発言を基に、めあてを提示する。
○二つの音楽を比較しながら聴く。	<p>次に、それぞれの音楽の中で特徴的な部分や印象的な部分を聴き取ってみましょう。</p> <p>日本は三味線、韓国は太鼓が使われていた。</p> <p>2曲とも話し声みたいな部分があった感じがする。</p> <p>話し声みたいな部分が共通していることに気付きましたね。この二つの曲は「語り物音楽」というジャンルに分類されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽を形づくっている要素を意識できるように、音楽の特徴を考えさせる。 ●繰り返し音楽を聴く活動を設定することで、音楽を通して気付きを共有できるようにする。 ●生徒の共通点の気付きを基に、2曲とも「語り物音楽」であることを伝える。
○題材の課題をつかむ。	<p>では、日本と韓国の「語り物音楽」には、それぞれ名前がついています。ペアで協力して調べてみましょう。</p> <p>韓国の語り物音楽は「パンソリ」ってすぐに検索できたけど、日本の語り物音楽は、何種類か出てきたよ。</p> <p>2曲とも「語り物音楽」というけど、何を語っているのかなあ。</p> <p>今回は、日本と韓国の語り物音楽「義太夫節」と「パンソリ」を比較しながら鑑賞の授業を進めていきます。</p> <p>【題材の課題】 日本と韓国の語り物音楽の特徴を探りながら聴き、音楽のよさや美しさを味わおう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ICT端末を活用し、主体的に学習に取り組めるように、学習に適したWebサイトを提示する。 ●演奏形態などが確認できる画像や映像を提示すると効果的である。 ●題材を通しての課題を確認することで、学習の見通しを立てられるようにする。
○学習のまとめをし、学びを振り返る。	<p>日本の音楽と韓国の音楽は、似ている部分もあったし違う部分もあった。他にどんな特徴があるのか知りたいな。</p>	

学習活動	活動例〔🎵：聴く活動 📄：学習プリント〕	指導のポイント
○本時のめあてをつかむ。	<p>前は日本と韓国の音楽を聴きましたね。どのような疑問点や不思議に気づきましたか。</p> <p>話し声の部分や演奏形態とか、似ているところがあったけど、雰囲気が違うのはなぜかと思いました。</p> <p>では、今日は二つの音楽の「似ている部分」や「違う部分」を探っていききたいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●前時の振り返りを行うことで、自己の気づきや他者への共感を促す。 ●共通点や相違点に気付けるようなめあてを示す。
○「義太夫節」と「パンソリ」の音楽表現を探る。	<p>まずは、それぞれの曲の一部分を流します。その音楽で物語のどの場面を表現しているか、考えながら聴いてみましょう。</p> <p>三味線の音が急に強くなって緊張感があったから「野崎村の段」の4の場面だと思うよ。</p> <p>「興甫歌」の2の場面だと思うな。細かなリズムの部分が、何かを切る音を表現していると感じたよ。</p> <p>雰囲気の違いは、楽器の音とかリズムが関係するのかなあ。</p> <p>では、音楽の特徴を音色とリズムに着目して探ってみましょう。</p> <p>義太夫節の三味線は音が低くて、パンソリの太鼓はドンという音とカッという音で演奏していた。</p> <p>義太夫節は、延ばす音が多くてゆっくりしていると感じたよ。</p> <p>義太夫節と違って、パンソリは、跳ねるようなリズムだね。</p> <p>国や地域によって、表現や雰囲気の違いがあることに気づけましたね。では、実際に手拍子をして、二つの国のリズムの特徴を実感してみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●物語と音楽との関わりを意識することで、音楽表現から生まれる特徴を理解しやすくする。 ●音楽と物語との関係性が分かりやすい部分を抜き出して鑑賞させることで、知覚と感受の関わりを捉えやすくする。 ⇒参考資料「二つの物語のあらすじ」参照 ●生徒の聴く観点を明確化するために、音楽を形づくっている要素を絞り、聴き取りやすい環境を整える。 ●生徒が知覚したことを基に、背景となる文化や歴史に触れる ●手拍子などで音楽を体感することで、具体的に音楽を捉えられるようにする。 ⇒参考資料「2拍子？3拍子？」参照
○「義太夫節」と「パンソリ」を比較する。	<p>今までの学習を基に、グループで意見を出し合って、二つの音楽の似ている部分と違う部分をまとめてみましょう。</p> <p>2曲とも歌っている人と楽器の人が一人ずつだったよ。</p> <p>でも、使っている楽器は違っていたよ。</p> <p>2曲とも話しているような部分があったよね。</p> <p>義太夫節は暗い感じだけど、パンソリは明るい感じがしたよ。</p> <p>もう一度聴いて確かめてみたいな。</p> <p>二つの音楽を聴き比べたら、似ている部分や違う部分から音楽の特徴を捉えることができましたね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ペア活動やグループ活動など学習形態を工夫し、様々な視点から音楽を捉えられるようにする。 ⇒参考資料「パンソリについて」参照 ●生徒の意見や発言を音楽を通して確認する時間を設ける。
○学習のまとめをし、学びを振り返る。	<p>同じ語り物音楽でも、使われている楽器やリズムが違っていると曲の雰囲気も変わることが分かった。似ている部分や違う部分があって、そこにはその国の歴史や地域の文化が大きく関係していることが分かった。</p>	

学習活動	活動例〔  : 聴く活動  : 紹介文シート 〕	指導のポイント
○本時のめあてをつかむ。	<p>前回は日本と韓国の音楽の共通点や相違点をまとめることができましたね。比べながら聴いてみて、どうでしたか？</p> <p>同じ語り物音楽なのに、その国ならではの特徴があって興味深かったです。</p> <p>今日は、二つの音楽の特徴を踏まえて、自分が感じた曲のよさなどを紹介し合いながら、音楽を味わって聴きましょう。</p>	<p>●前時の振り返りを行うことで、自己の気づきや他者への共感を促す。</p>
○紹介文を書き、グループで発表する。	<p>今回は「家族に向けて」曲を紹介する紹介文を書いてみましょう。紹介文を読んだ人に、みなさんの思いや考えが伝わるように工夫して書いてみましょう。</p> <p>紹介文をグループの中で発表しましょう。質問がある人は、書いた人に質問してみてください。</p> <p>パンソリは、女の人の声が特徴的だったよ。</p> <p>義太夫節は、太夫と三味線の息がピッタリだったね。</p> <p>パンソリのスキップみたいなリズムが楽しかったよ。</p> <p>そこは気付かなかったよ。もう一度聴いてみたいな。</p> <p>他の人の思いや考えに触れてみて、どうでしたか。自分では気付かなかったことも、友達の思いや考えから気付くこともありましたね。</p>	<p>●紹介文の場合、伝える相手を明確にすることで、相手に伝わりやすいように書いたり、より具体的に書こうとする意欲につなげる。(家族に向けては一例です)</p> <p>●生徒の実態を考慮して、紹介文や批評文などまとめ方を工夫する。</p> <p>●音楽に対する評価や価値を他者に伝え合うことで、自分の価値認識を再確認し、学習の深まりにつなげる。</p>
○学習のまとめをし、題材の学びを振り返る。	<p>今までの学習を振り返り、自分の中の音楽に対する価値や友達の意見を大切にしながら、もう一度、二つの音楽を鑑賞してみましょう。</p> <p>【課題を達成した姿】 音楽を形づくっている要素を手がかりに、日本と韓国の語り物音楽の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わっている</p> <p>日本の「義太夫節」と韓国の「パンソリ」という語り物音楽を聴きました。どちらの音楽も合唱の時の発声とは違って、地声に近い声で歌ったりセリフを言ったりしていました。お腹から声が出ていて、どちらも力強い音楽に感じました。日本と韓国以外の語り物音楽を聴いてみたいと思いました。</p> <p>日本と韓国の音楽は、拍子が大きく違っていることが分かりました。「義太夫節」は2拍子や4拍子の部分が多くて、落ち着いた感じがしました。「パンソリ」は3拍子の部分があって、跳ねる感じのリズムで楽しい雰囲気がしました。聴いていてワクワクしたので、私はパンソリが気に入りました。</p>	<p>●題材で学んだことを振り返りながら再鑑賞することで、音楽表現のよさや美しさを味わって聴くことにつながっていく。</p>